

大垣市民病院は赤字だったの!?

大垣市民病院の経営状況

全国の病院約7割は赤字、経営難の陥る病院が増えている!

急激な物価高騰に伴う運営コストの増大や人件費の増加などを要因として、日本の病院の多くはかつてないほどに深刻な経営難に直面しています。四病院団体協議会が、2025年11月に公表した最終報告によれば、病院の医業損益を年度比較（2023年度と2024年度）すると、医業利益が赤字になっている病院の割合は70.8%から74.6%へ経常利益が赤字になっている病院の割合は52.1%から65.0%へ増加しています。

なぜ、病院は増収でも利益が残らないのか?

病院の経営状況を見ると、医業収入は増加しているものの、それを上回るスピードでコスト（医薬品費、診療材料費、委託費など）が膨らんでいます。そして、病院は大きな組織・建物であることから、電気代やガス代などの光熱費が上がるだけで、運営コストへの影響は大きくなります。また、人事院勧告などによる人件費が急増しています。その結果として**増収減益**になる病院が増えています。

たとえば、医業収入を上げることを目的に手術件数を増やしても、手術で使用する医薬品や診療材料などのコストが上がっているため、利益につながりにくくなってます。特に近年は、急激な物価高騰と円安の影響が非常に大きくなっています。医薬品や診療材料、医療機器の多くは輸入に依存しているため、円安はコスト増に直結します。

大垣市民病院事業の業務実績の推移

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般病床(床)	857	771	771	771	771
一日平均入院患者数(人)	591	581	560	561	550
一日平均外来患者数(人)	1,917	1,882	1,835	1,817	1,763
一般病床利用率(%)	67.6	69.5	72.0	72.4	71.0
職 員 数(人)	1,488	1,440	1,417	1,421	1,452
患者1人1日あたり収益(円)	52,790	54,294	54,272	54,491	57,877
患者1人1日あたり費用(円)	51,653	53,415	54,257	56,037	60,094
患者1人1日あたり利益(円)	1,137	879	15	△1,546	△2,217

減
減
減増
増

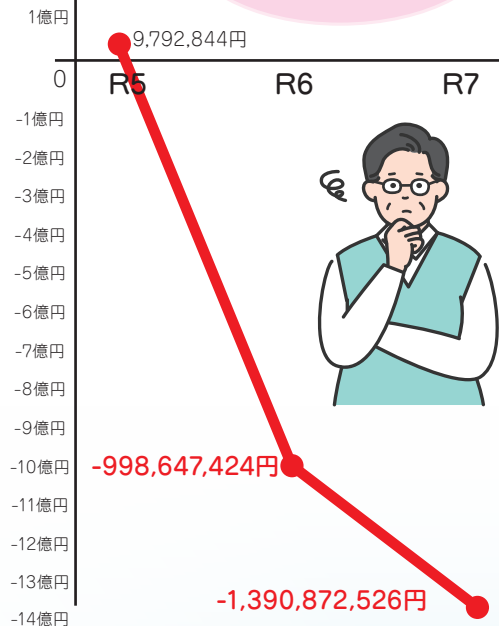
激減

市民病院が赤字経営!?

それも年間14億円!!

以前は一般病床利用率は80%以上あった
そうだけど、今は70%ほどになっているわ。安心して病院にかかりたいのに
医療はこの先どうなってしまうの?

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総 収 益	35,330,434,264	35,212,313,8966	36,303,084,133
病 院 医 業 (ア)	34,555,167,839	34,537,927,846	34,632,729,316
病院医業外収益(イ)	772,712,900	674,240,286	1,670,009,447
特 別 利 益 (ウ)	2,553,526	145,734	345,370
雑 費 用	35,320,641,420	36,210,961,290	37,693,956,659
病 院 医 業 費 用 (エ)	33,002,049,342	33,876,492,156	35,224,312,611
病院医業外費用(オ)	2,021,028,057	2,048,986,560	2,201,649,481
特 別 損 失 (カ)	297,564,021	285,482,574	267,994,567
医 業 利 益 (ア) - (エ) (A)	1,553,118,497	661,435,690	△591,583,295
医 業 外 利 益 (イ) - (オ) (B)	△1,248,315,157	△1,374,746,274	△531,640,034
経 常 利 益 (A) + (B)	304,803,340	△713,310,584	△1,123,223,329
当年度純利益(C)+(ウ)-(カ)	9,792,844	△998,647,424	△1,390,872,526

これは私たち市民にとって
大きな問題だと思う。
一刻も早く解決に向けて
進めなければならぬ。

赤鉛筆

今こそ『新大垣市民病院の大改革』を!!

大垣市民病院は、全国の自治体病院の中で、5本の指に入る「黒字経営」の優秀な病院だと最近まで信じて疑いませんでした。しかし、令和6年度は約10億円、令和7年度は約14億円の赤字でした。この大赤字の解消のためには、守りの鉄則である「コスト削減」と攻めの鉄則である「医療サービスの充実」、「先進医療機器の導入」と「建替えによる病院の再整備」は喫緊の課題です。厳しい経営環境の中でも確実に利益を残し、現場で働く医師や看護師などの医療専門職の待遇改善や患者への医療サービスの質の向上と充実を実現しなければなりません。

今こそ、大垣市民病院の全職員が一丸となってプロジェクトチームを創り、市長・市議会・市民は全面的にバックアップし、『新大垣市民病院の大改革』を実行すべき時です。

県政・市政・町政の勉強会

ご参加ください

日 時/10月31日(土) 10:00~12:00
テーマ/地域医療構想と大垣市民病院の経営について
場 所/オカサンホテル 1F 西事務所
大垣市旭町1-5 TEL71-8677 FAX75-2455
会 費/600円(飲み物・資料代含)

←お申し込みは
FAXまたはこちらから